

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号
特許第5155456号
(P5155456)

(45) 発行日 平成25年3月6日 (2013.3.6)

(24) 登録日 平成24年12月14日 (2012.12.14)

(51) Int.Cl.
A 4 5 D 19/02 (2006.01)

F I
A 4 5 D 19/02 B

請求項の数 13 (全 17 頁)

(21) 出願番号	特願2011-539680 (P2011-539680)	(73) 特許権者	590005058
(86) (22) 出願日	平成21年12月3日 (2009.12.3)		ザ プロクター アンド ギャンブル カ
(65) 公表番号	特表2012-510349 (P2012-510349A)		ンパニー
(43) 公表日	平成24年5月10日 (2012.5.10)		アメリカ合衆国オハイオ州, シンシナティ
(86) 国際出願番号	PCT/US2009/066524		ー, ワン プロクター アンド ギャンブ
(87) 国際公開番号	W02010/068547		ル プラザ (番地なし)
(87) 国際公開日	平成22年6月17日 (2010.6.17)	(74) 代理人	100110423
審査請求日	平成23年6月3日 (2011.6.3)		弁理士 曾我 道治
(31) 優先権主張番号	08021438.0	(74) 代理人	100084010
(32) 優先日	平成20年12月10日 (2008.12.10)		弁理士 古川 秀利
(33) 優先権主張国	欧州特許庁 (EP)	(74) 代理人	100094695
(31) 優先権主張番号	09174367.4		弁理士 鈴木 憲七
(32) 優先日	平成21年10月28日 (2009.10.28)	(74) 代理人	100111648
(33) 優先権主張国	欧州特許庁 (EP)		弁理士 梶並 順

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 毛髪ストランドの束への、毛髪用美容組成物の改善された塗布のためのアプリケーションータ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

毛髪用美容組成物を毛髪に塗布するためのアプリケーションータ(1)であって、前記アプリケーションータ(1)は、プレート(10)及び筒状容器(20)を含み、前記プレート(10)及び前記筒状容器(20)は、前記アプリケーションータ(1)が閉じた状態と開いた状態との間で切り替わることができるように、連結部(30)によって可動に連結され、前記プレート(10)は、外側表面(102)及び内側表面(101)を有し、前記内側表面(101)は、前記内側表面(101)から突出する第1のフィン(70)と、前記内側表面(101)から突出する第2のフィン(71)とを含み、前記第1のフィン(70)及び前記第2のフィン(71)はそれぞれ、自由遠位縁(80、81)を個別に含み、前記第1のフィン(70)の前記自由遠位縁(80)は、前記第2のフィン(71)の前記自由遠位縁(81)の方を向き、

前記筒状容器(20)は、基部(201)、前記基部(201)から生じる壁部(202)、及び縁部(222)を含み、

前記アプリケーションータ(1)は、流体調量手段を更に含み、前記流体調量手段は、前記縁部(222)に隣接する前記壁部(202)の内側表面上に位置付けられる下方調量手段(50)を含み、前記下方調量手段(50)は、前記壁部(202)の前記内側表面から、前記筒状容器(20)の中心の方に向かって延在し、前記アプリケーションータ(1)が前記閉じた状態にあるとき、前記下方調量手段(50)及び前記第1のフィン(70)は、実質的に並置されて前記流体調量手段を提供する、アプリケーションータ(1)。

【請求項 2】

前記アプリケーションが前記閉じた状態にあるとき、前記第 2 のフィン (7 1) 及び前記下方調量手段 (5 0) が実質的に並置される、請求項 1 に記載のアプリケーション (1)。

【請求項 3】

前記下方調量手段 (5 0) が、少なくとも 1 つのストリップ (1 3) を含む、請求項 1 又は 2 に記載のアプリケーション (1)。

【請求項 4】

前記下方調量手段 (5 0) は、ポリマー樹脂、熱可塑性エラストマー (T P E) 若しくはコポリマー、ポリウレタンの独立気泡発泡体若しくは連続気泡発泡体、及び / 又は多重層にした前記材料の組み合わせから選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のアプリケーション (1)。

10

【請求項 5】

前記下方調量手段 (5 0) が連続的である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のアプリケーション (1)。

【請求項 6】

前記下方調量手段 (5 0) の前記ストリップ (1 3) のそれぞれは互いに実質的に平行である、請求項 3、並びに請求項 3 を引用する請求項 4 及び 5 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 7】

前記下方調量手段 (5 0) の前記ストリップ (1 3) のそれぞれが、それぞれの隣接する前記ストリップ (1 3) から実質的に等距離である、請求項 3、及び請求項 3 を引用する請求項 4 ~ 6 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

20

【請求項 8】

前記下方調量手段 (5 0) が液体不透過性である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 9】

前記下方調量手段 (5 0) が、2 ~ 6 つの前記ストリップ (1 3) を含む、請求項 3、及び請求項 3 を引用する請求項 4 ~ 8 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

【請求項 10】

前記下方調量手段 (5 0) が、前記筒状容器 (2 0) の前記縁部 (2 2 2) に実質的に平行に位置付けられる、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のアプリケーション。

30

【請求項 11】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載のアプリケーション (1) を用いて毛髪用美容組成物を毛髪ストランドに塗布する方法であって、毛髪用美容組成物を前記開いた状態の前記アプリケーション (1) に加える工程と、毛髪ストランドの束を選択する工程と、前記毛髪ストランドを前記アプリケーション (1) に配置する工程と、前記アプリケーション (1) を前記閉じた状態にしてから前記毛髪ストランドの長さに沿って前記毛髪ストランドを拭う工程とを含む、方法。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 1 1 のいずれか一項に記載のアプリケーション (1) と、1 つ以上の個別包装された毛髪用美容組成物と、その使用説明書とを含む、パーツのキット。

40

【請求項 13】

毛髪ストランド効果をもたらすために、1 つ以上の毛髪用美容組成物又はそれらの組み合わせを用い、前記アプリケーション (1) は、前記毛髪ストランド効果をもたらす前に、前記 1 つ以上の毛髪用美容組成物が充填される、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載のアプリケーション (1) の使用方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、化粧品組成物を繊維、好ましくはケラチン性繊維に正確に、また乱雑になら

50

ないように、そして均一に塗布することを可能にするアプリケータに関する。第1の及び第2のフィンと、流体調量手段とを含むこのアプリケータは特に、毛髪ストランド効果を提供する毛髪用美容組成物用として意図されている。

【背景技術】

【0002】

別個の毛髪ストランドに毛髪用美容組成物を塗布すると、ユーザーは、頭部全体への塗布とは異なる見た目を達成することができる。毛髪ストランド効果を提供する毛髪用美容組成物としては、ハイライト組成物、染色組成物、パーマ組成物、スタイリング組成物及びこれらの混合物が挙げられる。

【0003】

ハイライト組成物及び染色組成物によって提供されるもののような毛髪ストランド効果は、望ましい場所に正確に塗布しなければならない。例えば、十分すぎる量のハイライト組成物を毛根に塗布すると、その組成物は、隣接した未選択の毛髪ストランドに移動することがある。これによって、最終結果全般が変わる場合があると共に、ユーザーが作り出そうとしていた模様が完全に分裂する場合がある。過剰な量の製品を毛根に塗布した場合、毛髪の長さに沿って色彩効果が一貫したものにならず、望ましくない視覚効果につながる。その代わりに不十分な組成物を毛髪ストランドに塗布した場合、毛髪ストランド効果の均一性が得られないことがあり、視覚的に許容不可能である最終結果を引き起こす。したがって、処理される毛髪ストランドに沿って、一定量の製品が均一に塗布されることが重要である。

【0004】

ハイライトのような毛髪ストランド効果を提供するための1つの既知の方法は、キャップ・フック式システムである。穴を備えるキャップが、頭の上に位置付けられ、毛髪ストランドが、フックで引き出される。キャップ・フック式システムは、正確とは程遠く、キャップ上の穴を介して毛髪ストランドを無作為に選択してしまう、またハイライト組成物を、選択した毛髪ストランドの一部にしか塗布しないうえに、毛根部分に塗布しない可能性があるなどのいくつかの欠点を持つ。

【0005】

いくつかのアプリケータが、キャップ・フック式システムの代替物として、毛髪ストランドの独立した束に毛髪用美容組成物を加えるためのものとして設計されてきた。これらのアプリケータは、2つの一般分野に属する。1つの分野は、櫛及び/又はブラシをベースとしたアプリケータを含む。もう一方の群は、一方が他方に関して可動である、2つの関節構造を呈する部分を有するアプリケータを含む。この後者の分野では、多くの試みが開示されてきた。米国特許第3,030,968号明細書は、浸漬作業によって充填される液体処理材用のアプリケータに言及している。このアプリケータは、トラフと、U字型弾性バネの脚部の末端部上に取り付けられた毛髪ガイド部材とを含む。このバネによって、手での圧縮が可能になり、毛髪ガイド部材がトラフに適合可能になる。米国特許第6,062,231号明細書は、毛髪用製品を毛髪ストランドに塗布するためのデバイスを開示している。このデバイスは、関節構造を呈する2つの部分、即ち、浸漬作業によって充填される塗布手段と、デバイスを使用している間、このアプリケータ手段の上に毛髪ストランドを保つ保持部材とを含む。米国特許出願公開第2003/0024544号明細書には、別の試みが示されており、毛髪用製品のための空洞と、伸縮自在に変形可能である保持部材とが設けられたデバイスが開示されている。この保持部材は、多孔質又は繊維性材料を含むことがあり、空洞には、毛髪用美容組成物の塗布中に毛髪ストランドを適所に保つための、少なくとも1つの切り欠きが設けられている。しかしながら、このような部材の使用には多くの欠点があり、特に組成物が毛髪ストランド全体に対して均一に付着せず、及び/又は毛髪が過剰にコーティングされたり、若しくは一部の毛髪ストランドが全くコーティングされないことがある。更に、組成物もアプリケータから移動して汚れを生じることがある。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0006】

【特許文献1】米国特許第3,030,968号明細書

【特許文献2】米国特許第6,062,231号明細書

【特許文献3】米国特許出願公開第2003/0024544号明細書

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

毛髪ストランド効果、具体的にはハイライト及び染色の効果を得るために組成物を自分で塗布することは本質的に困難であると一般的には認識されている。期待される最終結果を得るには、いくつかの技術的課題に対処するために、毛髪用美容組成物を自分で塗布するのを容易にするアプリケータを考案する必要があるが、具体的には、このアプリケータは、毛髪ストランドの独立した束に組成物を均一に塗布しなければならない。組成物がハイライト組成物又は染色組成物であるとき、均一性は非常に重要である。これらの組成物によってもたらされる永続的効果は、塗布後、直ぐには目に見えず、結果が魅力的でない場合でも、容易に戻せない。つまり、アプリケータは、毛髪ストランドの束の長さ及び幅に沿って、かつ、同様に、前側表面及び後側表面上で、均質なコーティングを確実に実現しなければならない。

10

【0008】

これに加えて、このようなアプリケータは、隣接するストランド又は頭皮及び皮膚に付着させることなく、全ての毛髪ストランドをコーティングし、それによって毛髪ストランド効果を提供するのに十分な量の毛髪用美容組成物を塗布しなければならない。更には、アプリケータは、ユーザーがアプリケータを毛髪ストランドの束に沿って動かす間に、毛髪用美容組成物を塗布して、それから続いて擦り落とすべきではない。このようなアプリケータを用いた塗布は、毛髪用美容組成物が毛髪用美容用アプリケータから漏れることなく、整然と清潔な形で実施されなければならない。更に、アプリケータは、進路に支障をきたして、からまり(snaring)、もつれ、及び潜在的な不快感をユーザーに与えることのないよう、アプリケータに毛髪ストランドを拭うことができなければならない。

20

【0009】

最後に、毛髪用美容組成物のための、そのようなアプリケータは使用が容易であるべきであり、それは安価で、生産が容易であるべきであり、毛髪用美容組成物をどのくらい及びどこに充填すべきかなどの事柄について、いかなる特別な経験及び訓練をも必要とするべきではない。理想的には、製造業者によって提供される、いくつかの指示に従うだけで、消費者がアプリケータを充填し、使用できなければならない。

30

【0010】

アプリケータは、本明細書において以下に定義されるように、毛髪用美容組成物の塗布を著しく改善して毛髪ストランド効果もたらすことができるということが今では判明している。

【課題を解決するための手段】

【0011】

40

本発明によると、毛髪用美容組成物を毛髪に塗布するためのアプリケータ(1)であって、アプリケータ(1)は、プレート(10)及び筒状容器(20)を含み、プレート(10)及び筒状容器(20)は、アプリケータ(1)が、閉じた状態と開いた状態との間で切り替わることができるように、連結部(30)によって可動に連結され、プレート(10)は、外側表面(102)及び内側表面(101)を有し、内側表面(101)は、内側表面(101)から突出する第1のフィン(70)と、内側表面(101)から突出する第2のフィン(71)とを含み、第1の及び第2のフィン(70、71)は自由遠位縁(80、81)をそれぞれ個別に含み、第1のフィン(70)の自由遠位縁(80)は、第2のフィン(71)の自由遠位縁(81)の方を向き、筒状容器(20)は、基部(201)、この基部(201)から生じる壁部(202)、及び縁部(222)を含み、

50

アプリケーション（１）は、流体調量手段を更に含み、この流体調量手段は、縁部（２２２）に隣接する壁部（２０２）の内側表面上に位置付けられ、壁部（２０２）の内側表面から、筒状容器（２０）の中心の方に向かって延在する、下方調量手段（５０）を含み、アプリケーション（１）が閉じた状態にあるとき、この下方調量手段（５０）及び第１のフィン（７０）は、実質的に並置されて流体調量手段を提供する、アプリケーションが提供される。

【００１２】

更に、本発明は、本発明によるアプリケーションを用いて、毛髪用美容組成物を毛髪に塗布する方に関し、これによって、毛髪の束を選択し、アプリケーション内に毛髪ストランドを配置しながら、毛髪用美容は、開いた状態にあるアプリケーションに塗布される。アプリケーションは、閉じた状態にされ、次いで毛髪ストランドの長さに沿って通される。

10

【００１３】

本発明はまた、本発明によるアプリケーションと、１つ以上の個別包装された毛髪用美容組成物と、その使用説明書とを含む、パーツのキットに関する。

【図面の簡単な説明】

【００１４】

【図１】本発明によるアプリケーション（１）の実施形態の斜視図である。前述のアプリケーションは、プレート（１０）と、筒状容器（２０）と、連結部（３０）とを含む。筒状容器は、基部（２０１）及びこの基部（２０１）から生じる壁部（２０２）、並びに縁部（２２２）を含む。本実施形態では、下方調量手段（５０）は、縁部（２２２）に隣接する筒状容器（２０）の壁部（２０２）の内側表面上に位置付けられ、かつ筒状容器（２０）の中心の方に向かって延在する。第１の及び第２のフィン（７０、７１）は、プレート（１０）の内側表面（１０１）から突出する。アプリケーション（１）は、この図では開いた状態で示されており、プレート（１０）の内側表面（１０１）は、筒状容器（２０）の開口部（２０３）と遠位関係にある。筒状容器（２０）の基部（２０１）の上には、連結部（３０）の横の壁部（２０２）に隣接して、アプリケーション（１）は封止手段（４０１）を含む。

20

【図２】本発明によるアプリケーション（１）の実施形態の斜視図である。プレート（１０）は、連結部（３０）によって、筒状容器（２０）に可動に連結されている。第１の及び第２のフィン（７０、７１）は、プレート（１０）の内側表面（１０１）から突出する。下方調量手段（５０）は、縁部（２２２）に隣接する壁部（２０２）の内側表面上に、２つの部分（５０、５０'）において、連結部（３０）の端部に隣接して、位置付けられる。

30

【発明を実施するための形態】

【００１５】

本発明の目的では、用語「毛髪」は、生きている毛髪、即ち、生物上の毛髪と、生きていない毛髪、即ち、かつら、ヘアピース、又は生きていないケラチン繊維の他の集合体との両方を指す。哺乳類、好ましくはヒトの毛髪が意図される。

【００１６】

本発明の目的では、「上に配置される」という用語は一般的に、この用語が言及する機構を配置する行為ではなく、この用語が言及する機構の場所を示すために用いられる。

【００１７】

本発明は、本明細書に記載する特徴が、上記技術的問題を解決するために本発明中で選択される特定の関係で組み合わせられるとき、それらが有する相乗関係によって特徴付けられる。

40

【００１８】

本明細書に記載される技術的效果を達成するため、図１に示されるように、本発明による、毛髪に毛髪用美容組成物を塗布するためのアプリケーション（１）は、プレート（１０）及び筒状容器（２０）を含む。連結部（３０）は、プレート（１０）をこの筒状容器（２０）に可動に連結する。プレート（１０）は、外辺部（１０３）並びに内側表面（１０１）及び外側表面（１０２）を含む。筒状容器（２０）は、基部（２０１）及び壁部（２０２）によって形成され、壁部（２０２）は、基部（２０１）から出て、上方に延在している。壁部（２０２）は、縁部（２２２）を含み、壁部（２０２）及び縁部（２２２）は、

50

図 1 に示されるように、筒状容器 (20) の開口部 (203) を画定する。プレート (10) 及び筒状容器 (20) は、連結部 (30) によって可動に連結され、よってアプリケーション (1) は、開いた状態から閉じた状態に切り替えることができる。この後者の状態では、プレート (10) の内側表面 (101) は、筒状容器 (20) の開口部 (203) と並置関係にある。

【0019】

プレート (10) の内側表面 (101) は、内側表面 (101) から突出する第 1 のフィン (70) 及び第 2 のフィン (71) を更にも含む。第 1 のフィン (70) の遠位縁 (80) は、第 2 のフィン (71) の遠位縁 (81) の方を向く。アプリケーション (1) は、下方調量手段 (50) を含む流体調量手段を更にも含む。下方調量手段 (50) は、縁部 (222) に隣接する壁部 (202) の内側表面上に位置付けられ、下方調量手段 (50) は、この壁部の内側表面から筒状容器 (20) の中心の方に向かって延在する。下方調量手段 (50) 及び第 1 のフィン (70) は、アプリケーション (1) が閉じた状態にあるとき、下方調量手段 (50) 及び第 1 のフィン (70) が実質的に並置されて流体調量手段を提供するように位置付けられる。好ましくは、下方調量手段 (50) 及び第 2 のフィン (71) もまた、アプリケーション (1) が閉じた状態にあるとき、下方調量手段 (50) 及び第 2 のフィン (71) が実質的に並置されて流体調量手段を提供するように位置付けられる。

【0020】

第 1 の及び第 2 のフィン (70、71) と、後述のような下方調量手段 (50) を含む流体調量手段との組み合わせにより、アプリケーション (1) は、きれいで乱雑にならないだけでなく、有効な毛髪ストランド効果を提供するように均一に、毛髪用美容組成物を毛髪ストランドに塗布することができるようになる。

【0021】

1. アプリケータ

本発明によるアプリケーション (1) は、筒状容器 (20) に可動に連結されたプレート (10) を含む。本発明によるアプリケーション (1) のプレート (10) 及び筒状容器 (20) は、人間工学的寸法のものであるため、どちらの手にも簡単に適合することができる。内側表面 (101) は、好ましくは、約 2 cm^2 ~ 約 150 cm^2 、好ましくは約 2 cm^2 ~ 約 70 cm^2 、より好ましくは約 3 cm^2 ~ 約 50 cm^2 、更に好ましくは約 4 cm^2 ~ 約 30 cm^2 の表面積を有する。プレート (10) の形は、様々であってよい。矩形、正方形、円形、長円形、楕円形又はこれらの組み合わせは、製造しやすいため有用であり得るが、他の形、とりわけ、消費者が認識しやすい他の形も用いてよい。

【0022】

アプリケーション (1) のプレート (10) は、軸 Y を含む。軸 Y は、プレート (10) の中央から真っ直ぐ伸びていると共に、連結部 (30) を横断方向に、好ましくは連結部 (30) を実質的に垂直に横切っている。

【0023】

プレート (10) は、外辺部 (103)、内側表面 (101) 及び外側表面 (102) を含む。筒状容器 (20) は、基部 (201) と、壁部 (202) とを含み、壁部 (202) は縁部 (222) を含む。縁部 (222) は、筒状容器 (20) の開口部 (203) 及び内部容積部を画定する。内部容積部は好ましくは、毛髪用美容組成物を収容するためのものである。壁部 (202) は、内側及び外側表面を含む。

【0024】

好ましくは、プレート (10) の外辺部 (103) 及び筒状容器 (20) の壁部 (202) の縁部 (222) は、曲線状でも尖っていてもよい。プレート (10) の外辺部 (103) 及び筒状容器 (20) の壁部 (202) の縁部 (222) は、それぞれ個別に、ある長さを有する。好ましくは、外辺部 (103) 及び縁部 (222) は、実質的に等しい長さを有する。縁部 (222) は幅も含む。好ましくは、縁部 (222) の幅は、約 1 mm ~ 約 20 mm 、より好ましくは約 2 mm ~ 約 15 mm 、更に好ましくは約 3 mm ~ 約 8

10

20

30

40

50

mmである。

【0025】

プレート(10)の内側表面(101)は、図1及び2に示されるように実質的に平坦であってもよく、あるいは凹状、凸状であってもよく、又は波状のパターンを有してもよい。外側表面(102)、壁部(202)、及び基部(bottom)(201)もまた、実質的に平坦、凹状、凸状、又は波状であってもよい。好ましくは、筒状容器(20)の基部(201)は実質的に平坦である。

【0026】

プレート(10)及び筒状容器(20)は、毛髪用美容組成物を支持できるいずれかの既知の材料又は材料の組み合わせから製造してよい。好適な材料は、ポリオレフィン、例えばポリプロピレン、ポリエチレン又はポリエチレンテレフタレートのような、ポリマー樹脂である。使用できる他の材料としては、ポリ塩化ビニル、ポリアミド、アセチル、アクリロニトリルブタジエンスチレン、アクリル、アクリロニトリルスチレンアクリレート、エチレンビニルアルコール、ポリカーボネート、ポリスチレン、シリコン若しくは熱可塑性エラストマー、適切な場合熱可塑性バルカネート(vulcanate)若しくはコポリマー、可撓性のある柔軟な基材、例えば板紙、金属系の基材及びアルミニウム箔、フィルム状基材、又は材料の多数の積層若しくは多数の層の組み合わせが挙げられる。

【0027】

プレート(10)及び筒状容器(20)の製造方法としては、射出成形、共射出成形、オーバーモルディング、インモールドアセンブリ、圧縮成形、吹込成形、ブリスト型シェルの熱成形又は真空成形、及び水平面又は垂直面におけるキャリアプラスチック又はボード材料上への積層を挙げることができるが、これらに限定されない。

【0028】

連結部(30)は、アプリケーション(1)が開いた状態から閉じた状態に切り替わることができるように、プレート(10)と筒状容器(20)とを移動可能な形で接合される。デバイス(10)が閉じた状態にあるとき、下方調量手段(50)は、第1のフィン(70)と実質的に並置関係にある。

【0029】

プレート(10)と筒状容器(20)は、ユーザーの手、例えば親指と人差し指の間を含め、連結部(30)のための上記の要件を満たすいずれかの好適な手段によって連結する。1つの実施形態では、プレート(10)及び筒状容器(20)は、ピンセット様又は tong 様の連結部(30)のアームの末端部に取り付けられている。別の実施形態では、プレート(10)と筒状容器(20)は、1つ以上のヒンジ、好ましくは1つのヒンジによって連結する。好ましくは、連結部(30)は、プレート(10)の外辺部(103)、及び筒状容器(20)の縁部(222)と接触すると共に、これらに隣接して配置される。

【0030】

連結部(30)は、アプリケーション(1)の制御に対するユーザー感覚を向上させるために、また、ユーザーが、どちらの手を用いても、アプリケーション(1)を毛髪ストランドの各束まで正確かつ簡単に誘導できるようにするために、必要である。

【0031】

2. フィン

本発明によるアプリケーション(1)は、第1のフィン(70)及び第2のフィン(71)を含み、これらは、プレート(10)の内側表面(101)から、好ましくは実質的に平坦な内側表面(101)から個別に突出する。第1のフィン(70)の遠位縁(80)は、第2のフィン(71)の遠位縁(81)の方を向く。本発明の範囲内の「フィン」という用語は、好ましくは後述のように実質的に一定の厚みの、材料のストリップ又はシートを画定する。第1のフィン(70)及び第2のフィン(71)の形状は変化してもよく、好ましくは、第1のフィン(70)及び第2のフィン(71)は、平行六面体の形状を有し、ここでは、6つの面のうちの2つが、残りの4つの面のいずれかの面積よりも少なく

10

20

30

40

50

とも2倍、より好ましくは5倍大きい面積にわたっている。これらの2つの面は、好ましくは実質的に平坦な表面を有する。第1フィン(70)及び第2フィン(71)の形は、様々であってよい。矩形、正方形、円形、長円形、楕円形、又はこれらの組み合わせが有用であり得る。図1及び2に示す矩形が好ましい。

【0032】

図1に示されるように、第1のフィン(70)は、プレート(10)の内側表面(101)、好ましくは実質的に平坦な内側表面から突出し、約1mm~約50mm、好ましくは約2mm~約25mm、より好ましくは3mm~約15mmの平均第1の長さ(L1)にわたって延びている。図2に示されるように、第2のフィン(71)は、第1のフィン(70)から個別に、プレート(10)の内側表面、好ましくは実質的に平坦な内側表面(101)から突出し、約1mm~約50mm、好ましくは約2mm~約25mm、より好ましくは3mm~約15mmの平均第2の長さ(L2)にわたって第1のフィン(70)から個別に延びている。

【0033】

好ましくは、第1フィン(70)及び第2フィン(71)は個別に、プレート(10)の内側表面(101)から突出しており、実質的に等しい第1及び第2の平均長(L1; L2)で延びている。第1のフィン(70)及び第2のフィン(71)のそれぞれは、遠位縁及び近位縁を有する。近位縁は、図2に示されるように、プレート(10)の内側表面(101)に取り付けられているものである。第1のフィン(70)の遠位縁(80)は、第2のフィン(71)の遠位縁(81)の方を向く。近位縁は、第1のフィン(70)に対して平均幅(W1)によって、第2のフィン(71)に対して平均幅(W2)によってそれぞれ個別に区切られており、第1のフィン(70)に対して平均厚さ(T1)によって、第2のフィン(71)に対して平均厚さ(T2)によってそれぞれ個別に区切られている。平均幅(W1)及び(W2)は、好ましくは約20cm~約0.5cm、より好ましくは約1.5cm~約1.0cm、更により好ましくは約1.0cm~約1.5cmである。平均厚さ(T1)及び(T2)は、好ましくは約5mm~約0.1mm、より好ましくは約4mm~約0.5mm、更により好ましくは約3mm~約0.5mmである。好ましくは、遠位縁は、これらの近位縁のように、実質的に等しい平均幅(W1)及び(W2)、並びに実質的に等しい平均厚さ(T1)及び(T2)も有する。第1の及び第2のフィン(70; 71)は、突出部を有してもよく、あるいは、特に視覚的又は触知的装飾を提供する目的でエンボス加工されていてもよい。

【0034】

好ましくは、第1フィン(70)及び第2フィン(71)は実質的に等しく、近位縁(90; 91)が、軸Yに実質的に平行であり、遠位縁(80; 81)が図2に示されるように互いの方に向かって接近する形で突出する。好ましくは、第1のフィン(71)(first fin(71))の近位縁(90)、より好ましくは第1のフィン(71)(first fin(71))の近位縁(90)及び第2のフィン(71)の近位縁(91)は、図2に示されるようにプレート(10)の軸Yに実質的に平行である内側表面(101)から突出する。

【0035】

第1の及び第2のフィン(70、71)は、プレート(10)又は筒状容器(20)を製造するために本明細書において前述した種々の材料で提供されてもよく、アプリケーション(1)とは個別に製造されてもよい。好ましくは、フィン(70、71)は流体不透過性である。特定の実施形態では、第1のフィン(70)及び第2のフィン(71)の両方、並びにプレート(10)は、例えば熱可塑性エラストマーから、同じ射出成型型又は共射出成型型で製造されてもよい。

【0036】

3. 流体調量手段

本発明によるアプリケーション(1)は、好ましくは少なくとも1つの凸状の弾力性部材又は少なくとも1つの平行六面体形状の弾力性部材から選択される、下方調量手段(50)を含む流体流体調量手段を特徴とする。好ましくは、下方調量手段は、液体不透過性であ

る。下方調量手段(50)は、筒状容器(20)の縁部(222)に隣接する筒状容器(20)の壁部(202)の内側表面上に位置付けられ、下方調量手段は、壁部(202)の内側表面から壁部(202)の中心の方に向かって延在する。アプリケーション(1)が閉じた状態にあるとき、下方調量手段(50)及び第1のフィン(70)が実質的に並置されて流体調量手段を提供する。好ましくは、フィン(70、71)は、アプリケーション(1)が閉じた状態にあるとき、筒状容器(20)の基部(201)に接触しない。用語「弾力性」は、本明細書に使用されるとき、加圧により変形され、圧力の解放により、その弛緩した位置に戻る、流体調量手段の能力を指す。

【0037】

理論に束縛されるものではないが、縁部(222)に隣接する筒状容器の内側壁部(202)上に位置付けられ、この筒状容器の中心の方に向かって延在する下方調量手段(50)と、内側表面(101)から突出する第1のフィン及び第2のフィン(71)とを含む流体調量手段を有することによって、アプリケーション(1)が毛髪用美容組成物を塗布できるようにするだけでなく、毛髪ストランド全体に沿ってこの組成物を均一に塗布できるようにすると考えられ、それによって、アプリケーション(1)が閉じた状態にあるとき、下方調量手段(50)及び第1のフィン(70)は実質的に並置される。

【0038】

均一性は、毛髪トリートメントの塗布において、特に毛髪用美容組成物がハイライト組成物又は染色組成物であるとき、重要である。これらの組成物によって提供される永続的効果は、塗布後直ちに目に見えるものではなく、また結果が魅力的なものでない場合に、簡単には逆戻りできない。つまり、アプリケーションは、毛髪ストランドの束の毛根から先端までの長さに沿って、また同様に、前側表面及び後側表面上で、毛髪ストランドの束の幅にわたって、均質な塗布を確実に実現しなければならない。したがって、塗布される毛髪用美容組成物の量のみならず、塗布する方法も重要である。本発明によるアプリケーション(1)は、毛髪用美容組成物を毛髪ストランドに、好ましくは毛髪ストランドの束に塗布するのを促進するために設計されているだけでなく、アプリケーション(1)は、使用中に、もつれ若しくは絡みによって毛髪の動きが損なわれることなく、毛髪用美容組成物が過剰な量で塗布されるか、アプリケーション(1)が使用されている間に、毛髪ストランドから除去されないということも回避する。特に、弾力性下方調量手段の条件は、結果として毛髪から組成物をこすり取る圧点が、使用中に生成されないようにする。弾力性はまた、毛髪がないときに、閉じた位置において、アプリケーションが、縁部において封止部を形成し、いずれかの組成物が漏れ出るのを防ぐようにし、毛髪が存在している間は、それは変形することができ、髪及び制御された量の組成物が通過するのを可能にする。

【0039】

下方調量手段(50)は少なくとも1つの、好ましくは少なくとも2つの凸状の弾力性部材、又は少なくとも1つの、好ましくは少なくとも2つの、より好ましくは少なくとも5つの平行六面体形状の弾力性部材を含む。好ましい平行四面体(parallelepiped)の形の部材はストリップ(13)である。本発明の範囲内の「ストリップ(13)」という用語は、好ましくは後述のように実質的に一定の厚さのストリップ(13)又は材料のシートと定義する。ストリップ(13)のそれぞれの形状は、様々であってもよいが、好ましくは、各ストリップ(13)は、平行六面体の形状を有し、この形状においては、6つの面のうちの2つが、残りの4つの面の面積の少なくとも2倍である面積にわたって延びている。これらの2つの面は、好ましくは実質的に平坦な表面を有する。ストリップ(13)のそれぞれの形は、様々であってもよい。矩形、正方形、円形、長円形、楕円形、又はこれらの組み合わせが有用であり得る。図2に示す矩形が好ましい。

【0040】

下方調量手段(50)のストリップ(13)は、連続的又は不連続な方式で、好ましくは連続的な方式で縁部(222)に隣接して、壁部(202)の内側表面上に位置付けられる。「不連続な」によって、ストリップ(13)のそれぞれは、軌跡若しくは小島を形成してもよく、又は中断されてもよいということを意味する。一実施形態では、下方調量

10

20

30

40

50

手段(50)は、壁部(202)の全体の縁部(222)に隣接して位置付けられる。他の実施形態では、下方調量手段(50)は、壁部(202)の内側表面の1つの区分のみ又は複数の区分上に配置されており、例えば、壁部(202)の内側表面の長さの部分のみが、図1及び2に示されるように下方調量手段(50)を含んでもよい。好ましくは、下方調量手段(50)は、連結部(30)に隣接して位置付けられ、より好ましくは下方調量手段(50)は、連結部(30)の2つの端部に隣接して位置付けられる。好ましくは、下方調量手段(50)は、縁部(222)に実質的に平行して位置付けられる。

【0041】

各実施形態において、下方調量手段(50)及び第1のフィン(70)は、アプリケーションが閉じた状態にあるとき、下方調量手段(50)及び第1のフィン(70)が実質的に並置されるように、位置付けられる。特に好ましい実施形態では、下方調量手段(50)は、2つの部分(50; 50')を含み、この部分(50; 50')は、好ましくは連結部(30)の2つの端部に隣接して配置される。参照番号50及び60は、本明細書において、下方及び上方調量手段をそれぞれ、加えて、この上方及び下方調量手段の部分を指すために使用される。

10

【0042】

好ましい実施形態では、下方調量手段(50)は、少なくとも1つのストリップ(13)、好ましくは2~20のストリップ(13)、好ましくは4~14、より好ましくは6~12のストリップ(13)を含む。

【0043】

20

好ましい実施形態では、下方調量手段(50)は、ストリップ(13)のセットの2セットを含み、前述のセットのそれぞれは、少なくとも2つのストリップ(13)、好ましくは5つのストリップ(13)を含む。下方調量手段(50)のストリップ(13)は、好ましくは実質的に互いに平行に配向され、より好ましくは、ストリップ(13)のそれぞれのセットは、互いに実質的に平行であり、かつ好ましくはそれぞれ隣接するストリップ(13)から等距離であるストリップ(13)を含む。

【0044】

下方調量手段(50)のストリップ(13)のそれぞれは、約3mm~約40cmの、好ましくは約5mm~約10cmの、より好ましくは約8mm~約5cmの長さを個別に有してもよい。下方調量手段(50)のストリップ(13)は、長さに沿って一定の又は可変の幅を個別に有してもよい。下方調量手段(50)のストリップ(13)は、約0.1mm~約2mm、好ましくは約0.1mm~約1.0mm、より好ましくは0.1mm~約0.5mmの最大幅、0.1mm~5.0mm、好ましくは0.2mm~3.0mm、より好ましくは0.3mm~2mmの最大高さを個別に有してもよい。好ましい実施形態では、ストリップ(13)は、実質的に等しく、一定である幅及び長さ、並びに好ましくは実質的に等しい高さを有する。

30

【0045】

本発明の代替の実施形態では、下方調量手段(50)は、少なくとも2つのストリップ(13)を含み、ここではストリップ(13)のそれぞれは、同一の高さではない。実施形態は、最大高さ又は最小高さ、その高さが徐々に最大まで増加し、それはアプリケーション(1)の壁部(202)の内側表面の外側若しくは内側に延在してもよく、またストリップ(13)が隆起した床上に位置付けられ、それが実質的に水平であるか、又はアプリケーション(1)の壁部(202)の内側表面の外側若しくは内側に延在することができる構成とを有する中央のストリップ(13)がある構成を含む。

40

【0046】

本発明の他の実施形態によると、下方調量手段(50)は、少なくとも1つ、好ましくは少なくとも2つの凸状の弾力性部材を含む。部材のそれぞれは個別に内側及び外側表面を含み、下方流体調量手段(50)の外側表面は個別に凸状の形を有し、アプリケーション(1)が閉じた状態にあるとき、下方調量手段(50)及び第1のフィン(70)は、実質的に並置されて流体調量手段を提供する。本明細書で使用されるとき、用語「下方調量手

50

段(50)の外側表面」は、壁部(202)の内側表面と直接接触しない下方調量手段の表面を指し、「内側表面」は壁部(202)の内側表面と接触する表面を指す。

【0047】

凸状の部材は、連続的又は不連続な方式で、好ましくは連続的な方式で、壁部(202)の内側表面上に位置付けられてもよい。「不連続な」によって、前述の部材は軌跡若しくは小島を形成してもよく、又は中断されてもよいということを意味する。一実施形態では、凸状の部材は、縁部(222)に隣接する壁部の長さ全体上に、好ましくは縁部(222)に実質的に平行に配置される。他の実施形態では、凸状部材は、縁部(222)に隣接する壁部(202)の内側表面の長さの1つの区分又は複数の区分上のみ配置される。一実施形態において、凸状部材は、壁部(202)の内側表面の外辺部の長さ全体に実質的に沿って延在してもよく、あるいは、他の実施形態では、外辺部の長さの1つの区分のみ又は複数の区分が凸状の部材を含む。

10

【0048】

好ましくは、凸状の部材は、連結部(30)に隣接して位置付けられる。各実施形態では、しかしながら、凸状の部材は、アプリケーションが閉じた状態にあるとき、凸状の部材及び第1のフィン(70)が実質的に並置されるように、位置付けられる。特に好ましい実施形態では、下方調量手段(50)は、2つの部分(50; 50')を含む。好ましくは、下方調量手段(50)のそれぞれは、実質的に半楕円形の外側表面を有し、より好ましくは、外側表面のそれぞれは、その長さ全体にわたって半楕円形の横断面を有し、これは好ましくは長さ全体にわたって均一である。代替の好ましい実施形態では、凸状の部材は個別に管状の形又は部分的に管状の形を有し、かつ好ましくは部分的若しくは全体的に中空である。

20

【0049】

下方調量手段(50)は、好ましくは、ポリオレフィンなどのポリマー樹脂、例えばポリプロピレン、ポリエチレン若しくはポリエチレンテレフタレート、ポリ塩化ビニル、エチレンビニルアセテート、ポリウレタン、ポリテトラフルオロエチレン、ポリスチレン、天然ゴム、ラテックス、ナイロン、ニトリル、シリコーン；適切な場合若しくは熱可塑性エラストマーもまた使用され得る熱可塑性エラストマー(TPE)若しくはコポリマー、又は可撓性の柔軟な基材、例えば金属系の基材及びアルミニウム箔、又は複数の積層体若しくは多重層にしたこのような材料の多層の組み合わせから個別に選択される。好ましくは、下方調量手段(50)は熱可塑性エラストマーから作製される。また、本発明の下方調量手段としては、物理的に重ね合わせるか、合わせて連続して接合(積層)するか、不連続なパターンで、又は別個の軌跡において外縁を結合することによって、同じ又は異なる材料の1つ以上の重ね層を有する複合材料も挙げられる。

30

【0050】

下方調量手段(50)は壁部(202)の内側表面に、任意の適切な方法で取り付けられてもよい。ただし、方法が、調量手段(50)の性能を損なわない又は変更しないことを条件とする。前述の部材、例えば、ストリップ(13)は、隣接する部材、例えばストリップ(13)に、又は部材若しくはストリップ(13)のセット上の部材若しくはストリップ(13)に取り付けられても、取り付けられなくてもよい。

40

【0051】

4. 付加的な機構

アプリケーション(1)は、1つ以上の封止手段を更に含んでもよく、好ましくは、1つの封止手段(401)が、毛髪用美容用アプリケーション(1)内に存在する。封止手段(401)は、接続部(30)側の壁部(202)に隣接した筒状容器(20)の基部(bottom)(201)上、又は接続部(30)に隣接した内側表面(101)に位置してもよい。好ましくは、封止手段(401)は、連結部(30)に隣接している。

【0052】

プレート(10)の内側表面(101)が、筒状容器(20)の開口部(203)と並置関係になるとき、毛髪用美容組成物が連結部(30)の方に移動するのを防ぐと共に、

50

毛髪が連結部（３０）内に閉じ込められるのを防ぐ目的で、封止手段（４０１）を提供する。封止手段（４０１）の製造に有用な材料には、本明細書で第１フィン（７１）に関して記載した材料、及び発泡体が挙げられる。

【００５３】

１つ以上のストッパ機構をアプリケータ（１）の上に組み入れてもよい。ストッパ機構は、連結部（３０）と連携して、プレート（１０）の内側表面（１０１）が、筒状容器（２０）の開口部（２０３）と並置関係になると、外辺部（１０３）と縁部（２２２）との間の平均距離が確実に制御されるようにする。一実施形態では、２つのストッパ機構は筒状容器（２０）の壁部（２０１）の縁部（２２２）上に備えられ、好ましくは２つのストッパ機構は、実質的に等しい半球である。ストッパ機構の製造に有用な材料は、本明細書に記載のプレート（１０）又は筒状容器（２０）の製造に関して前述されている。

10

【００５４】

本明細書に開示されているアプリケータ（１）は、プレート（１０）の外側表面（１０２）の上、及び／又は筒状容器（２０）の基部（bottom）（２０１）の上に把持区域を更に含んでもよい。把持区域は、把持部を提供するように設計されている。把持手段は、ユーザーの指に適合する締結手段として提供してもよい。

【００５５】

指を使って、毛髪用美容組成物を塗布すべき毛髪ストランドを選択してもよい。しかし、本発明のアプリケータ（１）には、毛髪ストランド選択手段を更に設けてもよい。毛髪ストランドの選択手段の例は、これに限定されるものではないが、スパイク、フック、鉤針、クリップ又はビーズである。毛髪ストランド選択手段は、プレート（１０）及び／又は筒状容器（２０）の上に組み入れてもよい。ペンナイフの刃で起こる動きのように、毛髪ストランド選択手段が、プレート（１０）及び／又は筒状容器（２０）に近い位置から遠い位置まで揺れ動くことができるように、手段は、スナップ機構によって、プレート（１０）及び／又は筒状容器（２０）に取り付けてもよい。また、毛髪ストランド選択手段は、本明細書で後述されているようなキットの構成要素として、本発明のアプリケータ（１）に別個に提供してもよい。

20

【００５６】

５．使用方法

本発明は、本発明によるアプリケータ（１）を用いて、毛髪用美容組成物を毛髪ストランド、好ましくは毛髪ストランドの束に塗布する方法にも関し、アプリケータ（１）は、毛髪用美容組成物を含み、方法によって、毛髪ストランドをアプリケータ（１）と接触させる。アプリケータ（１）には、１つ以上の毛髪用美容組成物を事前に充填してもよいが、好ましくは、毛髪ストランド、好ましくは毛髪ストランドの束をアプリケータ（１）と接触させる前に、１つ以上の毛髪用美容組成物をアプリケータ（１）の中に充填する。

30

【００５７】

毛髪用美容組成物は、単一の毛髪用美容組成物であってよく、又は毛髪に塗布する前に第２の毛髪用美容組成物と混合する必要がある第１の毛髪用美容組成物によって形成してもよい。好ましくは、第１及び第２の毛髪用美容組成物を混合して、第３の毛髪用美容組成物を形成する。第３の毛髪用美容組成物は、毛髪用美容用アプリケータ（１）によって毛髪ストランド、好ましくは毛髪ストランドの束と接触させる前に、毛髪用美容用アプリケータ（１）内に充填する。

40

【００５８】

毛髪用美容用アプリケータ（１）に１つ以上の毛髪用美容組成物を充填したら、ユーザーは、アプリケータ（１）のプレート（１０）の外側表面（１０２）及び筒状容器（２０）の基部（bottom）（２０１）を片手で、好ましくは親指と人差し指の間に持つ。ユーザーが、処理する毛髪ストランドを選択したら、アプリケータ（１）を開いた状態にしたまま、毛髪ストランド、好ましくは毛髪ストランドの束を、プレート（１０）と格納部分（２０）との間に配置する。続いて、プレート（１０）の内側表面（１０１）を筒状容器（２０）の開口部（２０３）と並置関係にする。毛髪ストランドの長さに沿って、好ましく

50

は毛髪ストランドの束上で、アプリケーター(1)を通して、1つ以上の毛髪用美容組成物を塗布する。より好ましくは、毛髪用美容用アプリケーター(1)は、毛髪ストランドの毛根ラインに、好ましくは、毛髪ストランドの束の毛根ラインに配置する。また、毛髪の限られた領域のみに毛髪用美容組成物を塗布すること、即ち、ユーザーは、毛髪用美容組成物で根元ラインのみをコーティングすることもできる。毛髪ストランドを拭う作業は、1回超、好ましくは2回、繰り返してよい。

【0059】

最後に、毛髪用美容組成物の塗布は、ぬれた状態又は乾燥した状態の毛髪上で発生してもよく、任意に、第1の組成物及び第2の組成物を毛髪へ塗布する間に、リンス又はシャンプー工程を含めることができる。

10

【0060】

6. 毛髪用美容組成物、その使用法、及びキット

本発明は更にキットを含む。キットは、本発明によるアプリケーター(1)と、1つ以上の個別包装された毛髪用美容組成物とを含む。好ましくは、これらの組成物は、スタイリング組成物、染色組成物、ハイライト組成物又はこれらの組み合わせからなる群から選択される。これらの毛髪用美容組成物のそれぞれ又はそれらの組み合わせを用いて、上記の毛髪デバイス(1)による毛髪ストランド効果を提供することができる。より好ましくは、1つ以上の毛髪用美容組成物はハイライト組成物である。

【0061】

本発明による毛髪用美容用アプリケーター(1)と共に用いることのできる毛髪用美容組成物の例は、下記の表1に示されている。毛髪用美容組成物は、既知であるか、従来より使用されているか、さもなければ、毛髪用美容組成物、特に酸化ブリーチング及び染料組成物で用いるのに有効な構成成分を含んでよく、その構成成分としては、顕色剤染料化合物、カップラー染料化合物、直接染料、酸化剤、還元剤、増粘剤、キレート化剤(chelants)、pH調節剤及び緩衝剤、アルカリ化剤、炭酸イオン源及びラジカルスカベンジャー系、グリシン、アモジメチコン、エチレンジアミンニコハク酸、アニオン性、カチオン性、非イオン性、両性若しくは双極性界面活性剤、又はこれらの混合物、アニオン性、カチオン性、非イオン性、両性若しくは双極性ポリマー、疎水変性ポリマー又はこれらの混合物、芳香剤、分散剤、溶媒、過酸化物安定化剤、キレート化剤(chelants)、湿潤剤、タンパク質及びその誘導体、植物材料(例えば、アロエ、カモミール及びヘナ抽出物)、シリコーン(揮発性又は不揮発性、変性又は未変性)、被膜形成剤、セルロースポリマー及びそれらの誘導体、セラミド、保存剤、ゲルネットワーク、変色指示剤及び乳白剤が挙げられるが、これらに限定されない。好適ないくつかの補助剤は、International Cosmetics Ingredient Dictionary and Handbook, (8th ed.; The Cosmetics, Toiletry, and Fragrance Association)に列挙されている。特に、第2巻、第3項(化学分類(Chemical Classes))及び第4項(機能(Functions))は、特定の目的又は複数の目的を達成するための具体的な補助剤を識別する際に有用である。代表的であるが包括的ではないポリマー及び増粘剤の一覧は、「The Encyclopedia of Polymers and Thickeners for Cosmetics」(Robert Y. Lochhead, PhD及びWilliam R. Fron編纂及び編集、Department of Polymer Science, University of Southern Mississippi)に見出すことができる。

20

30

40

【0062】

本発明は更にキットを含む。キットは、上記のようなアプリケーター(1)と、1つ以上の個別包装された毛髪用美容組成物とを含む。1つを超えるアプリケーター(1)がキット内に含まれていてもよい。

【0063】

本発明の1つの実施形態では、1つ以上の個別包装された毛髪用美容組成物は、第1の

50

個別包装された毛髪用美容組成物、及び第２の個別包装された毛髪用美容組成物を含む。第１及び第２の個別包装された毛髪用美容組成物を混合すると、第３の毛髪用美容組成物が形成される。そのような組成物の例としては、典型的には酸化染料と酸化剤とを含有するいわゆる半永久及び永久着色剤、並びに、酸化剤とアルカリ化剤とを含有し、任意に過硫酸塩を有するハイライト用組成物が挙げられる。好ましくは、第１の個別包装された組成物は酸化剤を含み、第２の個別包装された組成物はアルカリ化剤を含む。好ましくは、酸化剤は過酸化水素である。より好ましくは、第１及び／又は第２の個別包装された毛髪用美容組成物の少なくとも１つは、過硫酸塩を含む。

【００６４】

本発明によるキットの１つの実施形態では、第１の個別包装された毛髪用美容組成物は、第１の個別包装された毛髪用美容組成物の重量比で、過酸化水素を３％～１２％含み、第２の個別包装された毛髪用美容組成物は、粉末又はペースト活性化剤の形態であり、第２の個別包装された毛髪用美容組成物は、第２の個別包装された毛髪用美容組成物の重量比で、過硫酸ナトリウム、過硫酸カリウム、過硫酸アンモニウム又はこれらの混合物から選択された過硫酸塩を１０％～６０％含む。キットは、任意に、第３の個別包装された毛髪用美容組成物を含み、この第３の組成物は、第３の個別包装された毛髪用美容組成物の重量比で、水性賦形剤中のアルカリ化剤を３％～２５％含む。

10

【００６５】

本発明の別の実施形態では、第１の個別包装された毛髪用美容組成物は、第１の個別包装された毛髪用美容組成物の重量比で、過酸化水素を１．５％～１２％含み、第２の個別包装された毛髪用美容組成物は、第２の個別包装された毛髪用美容組成物の重量比で、直接染料、酸化染料前駆体、酸化染料カップラー、又はこれらの混合物から選択された染料を０．０１％～６％含む。

20

【００６６】

追加的な個別包装された毛髪用美容組成物がキット内に存在してもよく、その組成物は、シャンプー、コンディショナー、又はスタイリング製品を含んでよい。

【００６７】

本明細書に上記のアプリケーションの実施形態は、本明細書において以下に記載の組成物のそれぞれと共に使用されるとき、容易な塗布をもたらす、毛髪上に組成物の均一な塗布となり、同時に消費者の不快感又は毛髪のもつれも発生させない。

30

【００６８】

相１（表１の１．１、２．１、３．１、４．１）のいずれかの製剤約４５ｇ（液体形態）を、粉末形態である相２（表１の１．２、２．２、３．２、４．２）のいずれかの製剤約１５ｇと混合することによって、毛髪ブリーチング組成物を調製した。混合は、以下のように行った。相２の粉末製剤を混合トレイの中に入れ、相１の液体製剤を粉末の上に注いだ。続いて、へらを用いて、これら２つの製剤を合わせて混合して、ブリーチング組成物を形成した。ブリーチング組成物が目視で均質になったときに、混合を終わらせた。

【００６９】

【表 1】

表 1：混合するとハイライト組成物を形成できる相 1 及び 2 の処方。全ての成分は製剤相に対する重量パーセントで示されている。

相1	1. 1	2. 1	3. 1	4. 1
脱イオン水	残部(100%とする)	残部(100%とする)	残部(100%とする)	残部(100%とする)
過酸化水素(35%活性)	17. 2	17. 2	17. 2	17. 2
EDTAジナトリウム	0. 04	0. 04	0. 04	0. 04
水酸化ナトリウム(50%水溶液)	適量(pH 3. 5とする)	適量(pH 3. 5とする)	適量(pH 3. 5とする)	適量(pH 3. 5とする)
ステアリルアルコール ¹	2	1	2	2
セチルアルコール ²	3	1. 5	3	3
セテアレス25 ³	1. 5	0. 75	1. 5	1. 5
Aculyn(商標)33 ⁴		2. 4		
Salcare(商標)SC 90 ⁵			1	
相2	1. 2	2. 2	3. 2	4. 2
過硫酸アンモニウム	28. 6	28. 6	28. 6	28. 6
過硫酸カリウム	50	50	50	47
過硫酸ナトリウム	7. 14	7. 14	7. 14	7. 14
メタケイ酸ナトリウム	14. 26	14. 26	14. 26	14. 26
Carbopol(商標)Ultrez 10 ⁶				3

¹ステアリルアルコールCrodacol S-95、Croda, Inc.

²セチルアルコール、Crodacol C-70、Croda, Inc.

³セテアレス(Cetearth)25、Cremophor A 25、BASF Corporation

⁴Aculyn(商標)33、Rohm and Hass Company Inc

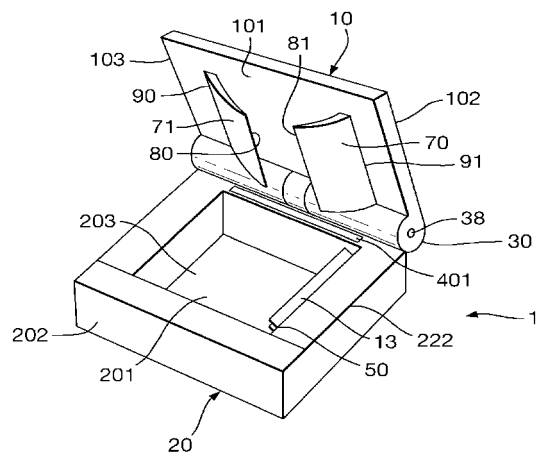
⁵Salcare(商標)SC 90 Ciba Specialty Chemicals Corporation

⁶Carbopol(商標)Ultrez 10

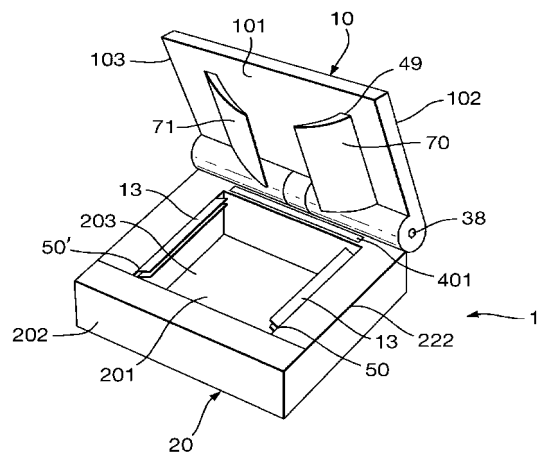
【0070】

本明細書に開示されている寸法及び値は、列挙した正確な数値に厳しく制限されるものとして理解すべきではない。それよりむしろ、特に規定がない限り、こうした各寸法は、列挙された値とその値周辺の機能的に同等の範囲との両方を意味することが意図される。例えば、「40mm」として開示された寸法は、「約40mm」を意味することを意図する。

【図 1】



【図 2】



フロントページの続き

(74)代理人 100147500

弁理士 田口 雅啓

(72)発明者 スミス, ポール ジェイムズ

イギリス国、ミドルセックス、ティーダブリュー-2、6イービー、トゥイックナム、ロングフォード、ロード 63

審査官 齊藤 公志郎

(56)参考文献 実開平04-041305(JP, U)

実開平04-135208(JP, U)

特開平11-009329(JP, A)

特開2001-224424(JP, A)

特表2006-525037(JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A45D 19/02

A45D 7/00-06